

info DRIVE ジャマガジン

# Jamagazine

Japan Automobile

Manufacturers Association

日本自動車工業会 広報誌

## 東京モーターフェス 2018 閉幕

10月6日(土)から10月8日(月・祝)の3日間にわたって開催いたしました。  
「東京モーターフェス2018」に多くの皆様にご来場いただき、  
ありがとうございました。

JAMA vol.52  
2018 10 月号  
[October]



## 「東京モーターフェス2018」特別号

東京モーターフェス2018の開催/バック to the バブル!/  
「e-Circuit」~新しい時代の走りを「e-Sports」で体験する/痛車天国スペシャル in TMF/  
豊田会長×マツコ・デラックスさんのスペシャルトークショー/

# JAMA

一般社団法人 日本自動車工業会



# 2018年11月自動車関連イベント



 は二輪レース

 は四輪レース

## 国内主要イベント

日時	場所	名称
11月 14-16日	神奈川県 パシフィコ横浜	ET&IoT Technology 2018
17-18日	福岡県 マリンメッセ福岡	福岡キャンピングカーショー
24-25日	岡山県 岡山国際サーキット	マツダファンフェスタ 2018 in OKAYAMA
25日	静岡県 富士スピードウェイ	TOYOTA GAZOO Racing Festival 2018

## 海外モーターショー/主要イベント

日時	場所	名称
11月 6-11日	イタリア ミラノ	ミラノ国際モーターサイクルショー
7-9日	ドイツ ケルン	プロフェッショナル・モータースポーツ・ワールドEXPO
18-21日	ドイツ ミュンヘン	エレクトロニカ2018
21-24日	タイ バンコク	メタレックス2018
21-25日	アメリカ サンフランシスコ	サンフランシスコ・オートショー
23-26日	トルコ イスタンブール	COMVEXイスタンブール
11月28日-12月1日	中国 上海	オートメカニカ上海
11月30日-12月9日	アメリカ ロサンゼルス	ロサンゼルス・オートショー

## 国内モータースポーツ

日時	場所	名称
11月 2-4日	愛知県 新城市	 全日本ラリー選手権 第10戦
3-4日	東京都 台場特設コース	 FIA Intercontinental Drifting Cup Tokyo Drift 2018
4日	岡山県 岡山国際サーキット	 スーパー耐久 第6戦
4日	三重県 鈴鹿サーキット	 全日本ロードレース選手権 第9戦
11日	栃木県 ツインリンクもてぎ	 スーパーGT 第8戦

## 海外モータースポーツ

日時	場所	名称
11月 4日	マレーシア セパン・インターナショナル・サーキット	 Moto GP マレーシアGP
11日	ブラジル アウトドローモ・ホセ・カルロス・パーチェ	 F1ブラジルGP
16-18日	オーストラリア コフスハーバー	 WRC ラリーオーストラリア
18日	中国 上海インターナショナル・サーキット	 WEC 第5戦
18日	スペイン バレンシア・サーキット・リカルド・トレモ	 Moto GP バレンシアGP
25日	アラブ首長国連邦 ヤス・マリーナ・サーキット	 F1アブダビGP

## JAMAGAZINE 2018年 10月号

発行日 平成30年10月31日  
発行人 一般社団法人 日本自動車工業会  
発行所 一般社団法人 日本自動車工業会  
〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館  
広報室・電話番号 03(5405)6119

©禁無断転載：一般社団法人 日本自動車工業会



### 特集

- 02 東京モーターフェス2018の開催
- 04 バック to the バブル！
- 06 「e-Circuit」～新しい時代の走り  
を「e-Sports」で体験する～
- 08 痛車天国スペシャル in TMF
- 10 豊田会長×マツコ・デラックスさんの  
スペシャルトークショー  
大学キャンパス出張授業も開催  
サプライズでソフトバンクグループの  
孫正義会長が登場
- 12 「みんなで声をあげよう！  
高すぎる！クルマの税金」ブース開設
- 13 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)  
自動走行システム シンポジウム開催
- 14 第46回東京モーターショー2019
- 16 トピックス



東京モーターフェス2018

●JAMAGAZINEは自工会WEBサイトからもご覧いただけます

[www.jama.or.jp/lib/  
jamagazine/index.html](http://www.jama.or.jp/lib/jamagazine/index.html)





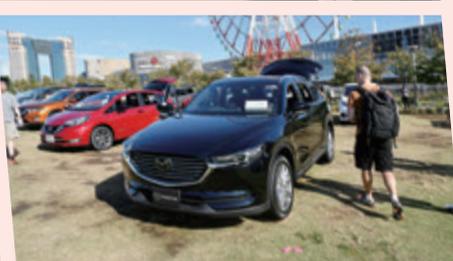
## クルマで平成を楽しみ尽くし そして、未来に繋げる

「東京モーターフェス2018」が10月6〜8日、東京・お台場で開催されました。開催期間中は季節はずれの暑さが戻りましたが、家族連れなどおよそ21万8千人が訪れました。入場料は無料で、平成最後の年であることから「平成を楽しみ尽くし、そして未来に繋げる」イベントとし初の試みである4つの「胸ぎゅん企画」をメインにクルマ・バイクを楽しみ尽くしていたたく祭典としました。出展車両数、会場面積など過去最大規模となった今回は、旧車から新型車までが一堂に会したほか、初日、4つの企画の一つである自工会の豊田章男会長とマツコ・デラックスさんの「スペシャルトークショー」ではソフトバンクグループの孫正義会長がサプライズゲストとして登場しました。

■テーマは  
「胸に、ぎゅんとくる。」

日本自動車工業会が主催している東京モーターフェスは、「より多くの皆様にクルマ・バイクに触れていただき、車・バイクの魅力・楽しさを感じていただけるような取り組みがしたい」という思いから、2012年にスタートしました。4回目となる今回

は「胸に、ぎゅんとくる。」をテーマに、「こういうのもありなんだ！」という発見、「次は何してみよう」という期待が詰まったクルマとバイクのお祭りとして開催し、前回と比べて参加メーカーが11社増の26社、出展車両台数は100台以上増え、過去最高となりました。会場は東京臨海副都心の特設の2会場とセンタープロムナード、メガ



ウエブにおいて開催し、前回と比べて会場面積とプログラム数が倍増しました。

■各社の新型車が一堂に

センタープロムナードには、各社が最新車両を展示。また特設会場では、最新モデルを試乗できるコーナーも設置しました。4輪車は会場周辺の一般道での試乗に加え、先進ドライビ

ングアシストの体験では「衝突回避技術」や「誤発信制御機能」など最新運転技術を体験いただきました。2輪車は会場内に設定されたコースでの試乗と、2輪車になじみがない人向けに原付バイクを運転できる「ビギナーコース」を用意しました。

■豊田会長が  
ドライバードで登場

ピストン西沢さんが会場に用意されたクルマを実際に走らせながら解説する「動くクルマ図鑑ステージ」も開かれました。タイヤの軋む音、砂埃を巻き上げて走るラリー車のデモ走行は迫力満点。プロドライバードによる走行に観客席から大きな歓声が出ていました。シークレットゲストで、自工会の豊田章男会長がモリゾウとして飛び入り参加。WRCで優勝したヤリスWRCなどのラリーカーのデモ走行をしていただき、また、一般来場者2名がモリゾウ運転のラリーカーに同乗するサプライズもあり大いに盛り上がりました。



# 「バック to the バブル!」

～クルマ・バイクを大きく  
育てたバブル時代～



マツダ・ユーノス・ロードスター



日産・Be-1



ホンダ・NSX



日産・シルビア



スバル・レガシィ



ホンダ・レジェンド



## バブルは数々の名車を生んだ バブリーダンスで、あの時代を思い出す

平成最後の年に、80〜90年代のバブル時代に発売された懐かしい車にスポットライトを当てた「バック to the バブル!」では、各社の保存車両や公募車両を用意したほか、中古車販売大手のガリバーの協力のもと、購入可能なバブル時代の車両も展示されました。

### ■ゲストがクルマの魅力を語る

トヨタ「スープラ」「セルシオ」をはじめ、日産「シーマ」や「シルビア」、ホンダ「NSX」「プレリウド」、スバル「アルシオーネ SVX」、マツダ「ユーノスロードスター」、三菱「パジェロ」など当時を知る人には懐かしく、若者には新鮮に映る車両が勢ぞろいしました。「来て・見て・触って!」平成の名車体験」では、実際に見たり、触ったりだけではなく、一部の車両でエンジン音を披露したり、ドアを開けてシートに座れるなど、懐かしの名車たちをお楽しみいただきました。車両の脇にはボディコン姿のコスプレィヤーの姿も見られ、彼女たちとの写真撮影も行われていました。

また、バブリーダンスで有名となった大阪府立登美丘高校のダンス部OGとドリフトユニット「チームオレンジ」のヨラホレーションによるフォーメーションダンスも披露されました。そのほか、ピストン西沢さんがプロデュースし、日替わりでゲストを招待して平成を振り返るトークショーも開催されました。トークセッションにはTUBEEの前田巨輝さん、DREAMS COME TRUEの中村正さん、EXILEのMAKIDAAAさんも登場。昭和、平成を駆け抜けた前田さんは来年以降のグループ活動について「その先のテーマはエンディングを目指していく」と語っていました。また出演者の平成の思い出に残る出来事や流行、車やバイクの思い出、新しい時代に対する意気込みなどを思い思いに話していただきました。





ホンダ・プレリュード



日産・スカイライン GT-R



トヨタ・カリーナED



ダイハツ・コペン



ホンダ・ビート



トヨタ・セルシオ



日産・フェアレディZ



いすゞ・ジェミニ



三菱・ディアマンテ



日産・シーマ



スバル・アルシオーネ SVX



三菱・パジェロ



日産・バオ



トヨタ・クラウン



トヨタ・スープラ





自動車メーカー対挑戦出場者たち

## 「FIAグランツーリスモチャンピオンシップ 2018ネイションズカップ」 アジア・オセアニア選手権 サーキットの興奮を体感できる

グランツーリスモの迫力や魅力をデジタルテクノロジーによって拡張し、サーキットの熱量や興奮が体感できるイベント、「e-Circuit」。このブースでは国際自動車連盟(FIA)が公認する「eモータースポーツ」の国際イベントの一端である、アジア・オセアニア地域で最も速いプレイヤーを決める「FIAグランツーリスモチャンピオンシップ2018ネイションズカップ アジア・オセアニア選手権」が行われました。ステージ上にスクリーンなどのセットが並び、正面の大型スクリーンにはゲーム画面のほか、ドライバーの表情などの映像や情報が映し出されています。また、ドライバーごとの順位や車速、ブレーキランプ、ピットイン、周回数などの走行状態が表示され、レースの状況が観戦している来場者にも理解しやすいよう、工夫されていました。

### ■ 國分選手がチャンピオン

今回は日本、オーストラリア、香港・台湾・ニュージーランドの3ブロックから30人が集まりました。初日に世界一のプレイヤー

を決めるワールドファイナル出場権をかけた「ワールドファイナル出場者決定戦」で10人を選抜。2日目に決勝大会が行われ、オンラインランキング1位の國

分諒選手がアジアオセアニアチャンピオンに輝きました。会場内では手に汗を握るレースが繰り広げられ、世界各地のサーキット場にいるような迫力がありました。

最終日にはお笑いコンビ「千原兄弟」の千原ジュリアさん、お笑いコンビ「FUJIWARA」の原西孝幸さん、元サッカー選手の太黒将志さんが登壇。実際にe-C



アジア・オセアニアチャンピオンの國分選手

ircuitを体験しました。その後、トヨタ、日産、ホンダ、スバル、マツダ、三菱の6社により、プロドライバー、各社社員、e-SPORTs強豪プレイヤーで構成されたチームで争う「グランツーリスモ真剣勝負・自動車メーカー対抗戦」も開

催されマツダチームが激戦を制しました。また、来場者もブレイドレーション4の「グランツーリスモSPORT」を実際にプレイすることができました。今後、ゲームもスポーツ競技の一つという考え方が根付いていくかもしれません。

「グランツーリスモ真剣勝負・自動車メーカー対抗戦」最終結果

順位	チーム	ベストラップ	トータルタイム	ギャップ
1位	マツダ	2:00.997	31:28.419	+00.000
2位	スバル	1:59.443	31:30.551	+02.132
3位	日産	1:59.967	31:30.804	+02.385
4位	ホンダ	1:52.532	31:31.565	+03.146
5位	三菱	1:58.663	31:32.075	+03.656
6位	トヨタ	1:58.488	31:49.035	+20.616

アジア・オセアニア選手権 決勝

RANK	DRIVER	RACE 1	RACE 2	RACE 3	TOTAL POINTS
1	Ryota Kokubun (Akagi_1942mi)	12	8	24	44
2	Tomoaki Yamanaka (yamado_racing38)	8	10	20	38
3	Kai Hin Jonathan Wong (saika159)	10	12	16	38
4	Shogo Yoshida (gilles_honda_v12)	7	7	12	26
5	Cody Nikola Latkovski (Nik_Makozi)	5	3	14	22
6	Yuki Shirakawa (yukiku)	6	6	8	20
7	Yat Lam Law (NegiFISH_NaF)	1	4	10	15
8	Matthew Simmons (MINT_GTR)	4	2	6	12
9	Adam Wilk (Adam_2167)	2	5	4	11
10	Daniel Holland (TRL_hol101)	3	1	2	6



自動車メーカー対抗戦動画



アジア・オセアニア選手権 決勝動画

# 「痛車天国スペシャル in TMF」



表現はオーナーの個性

## 『痛車』は平成の車文化だ！ クルマから、バイクにも波及…

平成のオタクブームが影響し、自分の好きなアイドルやアニメキャラクターの世界観を愛車にペイントする「痛車」文化も平成の車トレン드의一つと言えます。会場には選りすぐりの10台を日替りで展示。2日目には一大トレンドを築いた痛車が約200台集まりました。併催イベントとして「お台場で超ミーティングしよう〜痛車天国 in TMF」を開催。車に限らず、自転車やバイクなどにも痛車が広がってきていることから、会場にも自転車やバイクの痛車が見られました。

### ■痛車は増えている

今回は毎年春にお台場で開催している「痛車天国」がフェスに「出張」した形で開かれました。車好きとアニメ好きの両面を持つ痛車オーナーにとって、東京モーターフェスは「見てもらうだけでなく自分たちも楽しめるイベント」と話していました。イベントには痛車で一番人気があるという「初音ミク」や、人気作品の「ラブライブ!」「アイドルマスター」「東方プロジェクト」などのキャラクターをあしらった車両のほか「キャッツアイ」など昭和を代表する漫画をモチーフにし

た痛車も見られました。イベントの事務局によると、アニメの人気が高まったことで年間に制作、放映される番組が増えたため、これまでよりも痛車のモチーフとなるキャラクターが細分化され、「好き」を突き詰めた痛車が増えている」と言います。

### ■技術、品質も向上傾向

また、技術面でも車体に貼付するフィルムによる表現方法に広がりが出てきており、品質も高まっているようです。クリアシールによるイラストの使い方や、車体色を生かしたグラデー



シヨン切り絵仕様、ボディと同系色を使用したステルス系など、痛車の見せ方は多様化しています。フィルム自体の発色や耐候性も高まっており、2〜3年は保つそうです。

痛車はシール一枚から手軽に始められる一方、家庭を持つユーザー人口は横ばいだと思います。部分的な装飾からフルラッピングへ移行する人も多い

そうです。また、オーバードレンダーや車高調整など車のカスタムと組み合わせるユーザーもいれば、オーディオ機材を積んでアニメミュージックを流すなど、表現方法にもオーナーの個性がにじみ出ていました。

展示車両の車種もまちまちです。ボンネットが広い車の方が表現できる面積が増えるものの、軽自動車やコンパクトカー、自転車やバイクなどへも痛車の文化は

広がっています。また、バイクは曲面が多いため、カウルが付いたものなどに人気が集まっているようです。痛車イベントに自転車でも参加した学生は「いずれ車でも痛車にしたい」と話していました。「車の楽しみ方の中で、若者を取り込みやすい分野ではないか」と痛車天国の事務局では分析しています。「今回のイベントを通じて、痛車の理解を深めてほしい」と期待していました。

# 豊田会長×マツコ・デラックスさんの スペシャルトークショー in 東京モーターフェス2018



異色の顔が熱く、暑く語る  
大学キャンパス  
出張授業の集中講義  
サプライズゲストの  
登場で騒然



東京モーターフェス2018の初日に、「豊田会長×マツコ・デラックスさんのスペシャルトークショー」がダイバーシティ東京プラザ・フェスティバル広場で開催。自動車好きのマツコ・デラックスさんをお迎えし、自工会の豊田章男会長とクルマの魅力を語り合った。今回は「大学キャンパス出張授業2018」も兼ねたものになり、会場には事前に申し込んだ大学生を含む約1000人が出席。大学生からは自動車業界の課題や将来性の質問も相次ぎ、二人が熱く答えていた。



質問・学生G「豊田さん、マツコさんの人生は幸せか」

僕は幸せです。結構今、いろいろな面で苦労しています。だけれども、他の人生を今からやるといわれたら、このほうがいい。どうせ苦労するなら。私はベストを狙っていない。いつもベターです。今日より明日はよくなる、明日より明後日はもっとよくなる。いつも何かよくなることを望んでいます。そういう気持ちでいられる自分がいいのが幸せだなど思っています。それがベストになっちゃって、俺はずこいななんて思っちゃって、もうそこで多分成長もしないだろうし、影響もしないし、努力もしない。だから、自分はまだまだだと思っているが故に努力し続ける。例えば、いろんな質問を聞こうと思っているのもそれだと思っ。だから、そういう中で、努力をし続ける自分があるうちは、今は幸せだと思えます。



私はもう本当に、自分のことを不幸せだと思っているんです。でも不幸せだと思えるのは、幸せじゃないと思えないとも思う。余裕があったり、何かちよつと人生をちゃんとしき抜いているから、何もいいことないわ、不幸せだなど毎日愚痴って生きていく。これが本当に切羽詰まったら、多分そんなことを言っているのも面倒くさくなってくる。だから、元氣だなど思って毎日文句を言わずに働くことが、幸せだと信じている。



質問「夢を教えてください」

「夢と志は違う」。これは大事なんです。夢と志は似た言葉だと思っでしよう。何か似たような。けれども、全然違う。例えば、ピアノを買いたい。それから、家を建てたい。これは夢。自分の夢。ピアノを買いたいというのは、志とはいわない。おもちゃの何かを買いたい。これは自分の個人の願望でしょう。個人の願望は夢。一方、100万人、1000万人の願望をかなえるのは、志。一回生まれただけには、自分の小さな夢だけじゃなくて、できるなら多くの人の夢をかなえてあげたい。これが志。自分の業界のことを言っつと、情報革命。17、18歳で初めてマイクロコンピューターのチップの写真を見たときに、涙を流したんです。これから、このマイクロコンピューターでコンピューターの革命が起きる。これで多くのの人々を幸せにしたい。これをどんどん突き詰めていくと、いろいろな問題を一步一步解決し、人々を幸せにする。結果、笑顔が見られる。この笑顔は、有名な人とかではなく、地球の裏側の小さな国で顔が泥んこになったような子供たちが、誰に感謝をしていいかは分からないけれどもありがたいがとっつと、ニッコリと笑っている。それが一番幸せを感じる。



# 孫正義さんが登壇！ 日本初の顔合わせは、 大きな化学反応に

スペシャルトークの途中で孫正義さんが登壇。さすがにマツコ・デラックスさんも、この顔ぶれには緊張気味。日本初ともいえる豊田会長、孫さん、マツコ・デラックスさんの三人による絶妙なトークは経済から人生観にまで及んだ。



「質問「日本の未来が不安です。これから明るい世界はあるのでしょうか」

すごい予感  
している。何か未  
来をブイブイいわ  
す、それが日本か  
ら始まる。

本当に未来を見通せる人な  
んていない。未来をつくってい  
くのは若者だと思います。誰か  
の言葉で「他人と過去は変えら  
れないが、未来と自分を変えら  
れる」がある。だから自分を変  
えていけば、未来が変わる。

孫さんがブイブイ  
いわすという言葉  
を知っている。意外  
というよりも、私た  
ちに近い人間かもよ。  
それだけで何かワ  
クワクする。

この他にも楽しいトーク  
がくり広げられました！  
詳細は下記QRコード、  
URLからご覧ください

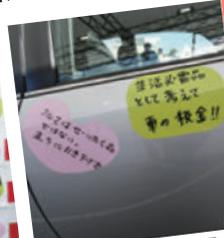
[https://www.youtube.com/  
watch?v=Rq6gVbaWQL4&  
feature=youtu.be](https://www.youtube.com/watch?v=Rq6gVbaWQL4&feature=youtu.be)



# 「みんなで声をあげよう！ 高すぎる！クルマの税金」ブース開設



クルマに貼られたステッカーからユーザーの悲鳴が聞こえます



このステッカーにはユーザーの本音、税負担の不満が書き込まれています



## 来場者の多くが、 クルマの税金は「高い」と訴える

自動車関係団体で構成する自動車税制改革フォーラム(以下「フォーラム」)は、10月6〜8日に東京・お台場エリアで開催した「東京モーターフェス2018」で、「みんなで声をあげよう！高すぎる！クルマの税金」ブースを設けて、来場者から自動車関連の税制に対する意見を集めました。クルマ好きも多く集まるモーターフェスでユーザーの意見を揭示し、自動車ユーザーの税制の負担の大きさを訴えました。

### ■今度こそ抜本的な見直し

自動車業界は、来年10月に控える消費税率引き上げによる影響を懸念しています。自工会の豊田会長も、マツコ・デラックスさんとのトークショーにおいて「現在の税負担を維持したまま消費税率が10%になると、30万台の需要減、2兆円の経済損失と9万人の雇用減につながる」と試算もありました。フォーラムは影響を最小限にとどめるため、車体課税の抜本的な見直しを要望しており、今年はそれに向けて「正念場」の年と考えています。

### ■ユーザーの声を聞こう!!

フォーラムでは、自動車関連の税制に対する一般ユーザーの率直な声を聞くことを目的に、今回の東京モーターフェスにブースを出展しました。来場者には気軽に意見を書いてもらえるように、ステッカーを用意しました。また揭示するのはステッカーのみですが、来場者の記念になるように、ステッカーを持った参加者の写真撮影のサービスも行いました。

### ■税負担が大きい

来場者が記入したステッカーは、メッセージボードや車両に貼り付けて揭示しました。ステッカーを見てみると、「税金高い！若者だつて車が欲しい！」「クルマの税金何に使っているのかわからない！はつきりしてよ！」「大切にしている古い車の税金を安くして」「ガソリンの税金二重取りズルイ！」など様々な意見が集まっております。自動車ユーザーに税負担が重くのしかかっている現状が改めて明らかになりました。



葛巻清吾プログラムディレクター



自工会の横山利夫  
自動運転検討会主査

# 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) 自動走行システム シンポジウム開催



自動運転の社会受容性を高める目的で開催

## あなたと考える 自動運転の安心・安全

内閣府が主導する戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「自動走行システム」は10月7日、「あなたと考える自動運転の安心・安全」をテーマにシンポジウムを東京国際交流館(東京都江東区)で開催しました。技術や法規制など、様々な観点から自動運転技術の現状について有識者が紹介するとともに、今後の課題についてパネルディスカッションを通じて議論しました。

### ■自動運転の理解向上

同シンポジウムは、6〜8日に開催された「東京モーターフェス2018」の併催イベントの一つです。ここ数年、自動車メーカーやサプライヤーが自動運転技術の開発を加速しています。しかし、新しい技術である自動運転を実用化して普及させるには、一般ユーザーが自動運転を理解し、社会が受け入れられるような土壌づくりが何よりも大切になります。同シンポジウムもユーザーの自動運転に対する漠然とした不安や期待に対して、専門家からの正確な情報提供の場を設けることで、自動運

転に関する理解を高めてもらうことを目的に開催しました。

### ■環境整備と協調領域

SIP自動走行システムのプログラムディレクターを務める葛巻清吾氏は、ダイナミックマップ(3次元デジタル地図)の整備や実証実験などの取り組みを述べることも、自動運転技術を活用した物流や移動サービスの実用化に向けた環境整備など、SIPが今後取り組む協調領域を紹介しました。日本自動車工業会からは自動運転検討会主査の横山利夫氏が参加し、自工会で検討している高度自動運転システ

ムの安全性を評価する手法について紹介しました。

### ■多彩なパネリスト

一方で、中央大学の専門教授である中川由賀氏は、自動運転車が事故を起こした場合の責任問題に言及しました。自動車メーカーの開発を委縮させることなく、社会も納得する法のあり方を考える重要性について、問題提起しました。このほかパネリストでは、国土交通省・自動車局・技術政策課で自動運転戦略室長の平澤崇裕氏や警察庁の交通局交通企画課自動運転企画室長の杉俊弘氏、東京農工大学准教授のボンサトーン・ラクシンチャランサク氏が参加しました。

参加者は194人で、このうち50〜60代の年齢層が約5割を占めました。開催後に来場者から集めたアンケートによると、自動運転は技術だけでなく、法律や交通ルールにも課題があることについて理解できたという回答が多くみられたとのこと。社会受容性を高めるという同シンポジウムの目的は一定の成果を出したといえそうです。

# 第46回東京モーターショー2019

## 東京ビッグサイトを中心に2019年10月24日に開幕

一般社団法人 日本自動車工業会(会長：豊田 章男)は、第46回東京モーターショー2019を2019年10月24日(木)から11月4日(月・祝)まで、東京ビッグサイト(江東区・有明)を中心に開催することを決定しました。

今回は、一般公開日を11月4日(月・祝)まで延長し、来場者の皆様によりゆっくりご覧頂ける会期と致しました。また、近隣の臨海副都心エリアやその他のエリアでの拡充開催も検討しており、様々な実施プログラムでご満足いただけるショーを目指します。

乗用車、商用車、二輪車、カロッツェリア、車体、部品・機械器具、モビリティ関連サービスを始めとする各部門の出展者募集を、本年10月15日(月)より開始し、2019年1月18日(金)の締切を予定しています。

### 第46回東京モーターショー2019 開催概要

名 称	第46回東京モーターショー2019	
主 催	一般社団法人 日本自動車工業会	
共 催	一般社団法人 日本自動車部品工業会 一般社団法人 日本自動車車体工業会 一般社団法人 日本自動車機械器具工業会 日本自動車輸入組合	
開催期間 ・ 開場時間	会 期	2019年10月24日(木)~11月4日(月・祝)
	プレスデー	●10月23日(水) 8時00分~18時00分 ●10月24日(木) 8時00分~11時30分
	オフィシャルデー*	●10月24日(木) 11時30分~18時00分
	特別招待日 障がい者手帳をお持ちの方の特別見学日**	●10月24日(木) 14時00分~18時00分
	プレビューデー***	●10月25日(金) 9時00分~14時00分 ※14時00分以降も入場及び滞在可
	一般公開日	●10月25日(金)~11月4日(月・祝) 14時00分~20時00分 10時00分~20時00分 10時00分~18時00分
メイン会場	東京ビッグサイト(西/南/青海展示棟)	

注：\* 開会式等の式典を実施。

\*\* 事前登録制(障がい者手帳提示)

\*\*\* プレビューデー(販売枚数限定)の入場券で入場可能。

# クルマの先進安全装備は、 あなたの安全運転で完成します。

先進安全技術を  
備えたクルマが  
増えています。



クルマの先進安全装備は、安全運転を支援するシステムです。  
機能には限界がありますので、過信せず取扱説明書等でご確認ください。

## 衝突被害軽減ブレーキ



クルマが障害物を感じて、警告やブレーキの補助操作を行います。

## 定速走行・車間距離制御装置



設定車速内で前方のクルマとの車間距離を保ちながら追従走行して運転をサポートします。

## 車線逸脱警報



道路上の車線を検知して、車線をはみ出しそうになった時、警告音等を発して正しい位置に戻ることを促します。

## 後側方接近車両警報



死角になる斜め後方のクルマを検知し、危険を知らせます。

## 自動切替型前照灯



夜間走行時にセンサーが周囲の明るさや、先行車・対向車の有無を検知し、ハイビームとロービームを自動で切り替えます。

## ペダル踏み間違い時加速抑制装置



前方(及び後方)の壁や車両を検知した状態で誤ってアクセルを踏み込んだ際、急加速を防止します。



衝突被害軽減ブレーキ等を備えた「安全運転サポート車（サボカー）」の普及・啓発に取り組んでいます。

**JAMA** 一般社団法人 日本自動車工業会  
JAPAN AUTOMOBILE MANUFACTURERS ASSOCIATION, INC.  
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館  
<http://www.anzen-untten.com>



## F1第17戦日本GP決勝

力走するトロロツソ・ホンダ

F1第17戦日本GPの決勝レースが、10月7日、鈴鹿サーキットで行われ、ホームレースのトロロツソ・ホンダの2台は、ピエール・ガスリーが11位、ブレンドン・ハートレーが13位に入りました。来場者の目を引いたのはトロロツソ・ホンダのファンシート。トロロツソ・ホンダのチームカラーであるブルー一色に染まり、ホンダ勢の活躍に力強い声援を送りました。

ホンダ F1 テクニカルディレクターの田辺豊治氏はレースを振り返り「昨日の予選結果が良かっただけに、それを今日のレースに繋げられず非常に残念。常に多くのファンの方々へ温かい声援をいただき、チームメンバー全員が勇気づけられました。それに応えるためにもポジティブな結果を残したかっただけに、悔しい気持ちが強いです」とコメントしました。



本田技研・八郷隆弘社長がチームを激励



## WEC富士6耐で トヨタ1、2フィニッシュ

WECトヨタ1、2フィニッシュ

FIA世界耐久選手権(WEC)富士6時間耐久レースが富士スピードウェイで行われ、TOYOTA GAZOO Racingチームがワン・ツー・フィニッシュで優勝を飾った。優勝カーはトヨタ TS050 HYBRID 7号車(小林可夢偉/マイク・コンウェイ/ホセ・マリア・ロベス)、2位が同8号車(中嶋一貴、セバスチャン・ブエミ/フェルナンド・アロンソ)。

大会終了後、トヨタ自動車株式会社の豊田章男社長がコメントを発表。「ル・マンの時のようなワン・ツー・フィニッシュの感動をホームで見たいと思っていた」など大会に臨む意気込みや熱い想い、選手たちとのやりとりを披露しながら、「チームのみんなワン・ツー・フィニッシュをありがとう。7号車のみんな、待望の優勝おめでとう。そしてファンの皆さまいつもご声援を本当にありがとうございます」とファン、選手、関係者らに感謝を伝え、勝利の喜びを分かち合いました。



WEC富士6耐 表彰式

# 「マルク・マルケス」がFIMロードレース 世界選手権MotoGPクラスで 3年連続5回目のチャンピオンを獲得

2018 FIM\*ロードレース世界選手権シリーズ第16戦日本GP(10月21日開催)において、株式会社ホンダ・レーシング(以下HRC)の契約ライダーで、レプソル・ホンダ・チーム(Repsol Honda Team)のマルク・マルケスが優勝。3年連続5回目のシリーズチャンピオンに輝きました。



## マルク・マルケスのコメント

「とにかく、今は本当に幸せな気持ちです。思い描いていた通りのレースができました。6番手からのスタートでしたが、戦略通りに1周目の終わりには2番手へ浮上してドヴィツィオーゾ選手との一騎打ちに持ち込めました。前戦のタイGPと同じく終盤でアタックを仕掛けてトップを奪いました。ドヴィツィオーゾ選手が転倒したというピットからのサインを見て自分のタイトル獲得が決定したのが分かり、素晴らしい気持ちになりました」

## 本田技研工業株式会社 代表取締役社長 八郷隆弘のコメント

「二輪ロードレースの最高峰でチャレンジを続け、5度目のチャンピオンを獲得したマルク・マルケス選手を心から祝福します。またHondaにとってホームとなる日本GPで多くのファン・関係者が見守る中、チャンピオンを勝ち取ってくれたことを大変うれしく思います。今後もHondaは、皆さまと感動を共有できるレース活動を目指し、取り組んでまいります。ご声援ありがとうございました」

(ホンダホームページより)

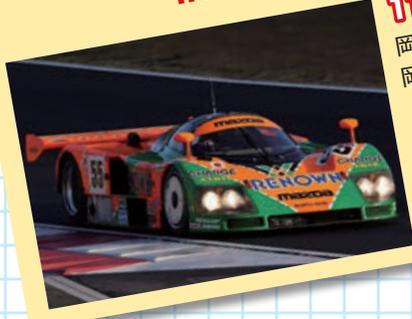
※FIMとは、Fédération Internationale de Motocyclisme(国際モーターサイクリズム連盟)の略称

# 自動車メーカーファン感謝イベント

自動車メーカー各社では、例年本格的なレースシーズン終了後の秋から冬にかけて、ファン感謝イベントが行われております。  
今年のレースを盛り上げたマシンのみならず、  
往年のレースシーンを彩ったマシンの走りを実際に見ることができます。

**マツダファンフェスタ 2018  
in OKAYAMA**

**11月24日、25日**  
岡山県美作市  
岡山国際サーキット




気になる方は  
サーキットまでGO!

**TOYOTA GAZOO Racing  
FESTIVAL 2018**

**11月25日**  
静岡県駿東郡小山町  
富士スピードウェイ




**NISMO FESTIVAL at  
FUJI SPEEDWAY 2018**

**12月2日**  
静岡県駿東郡小山町  
富士スピードウェイ




**Honda Racing THANKS DAY  
2018**

**12月9日**  
栃木県芳賀郡茂木町  
ツインリンクもてぎ




各社HPより